●ご不明な点は販売店、または弊社までお問い合わせください。
●この取扱説明書は仕様改良のため予告なく変更することがあります。

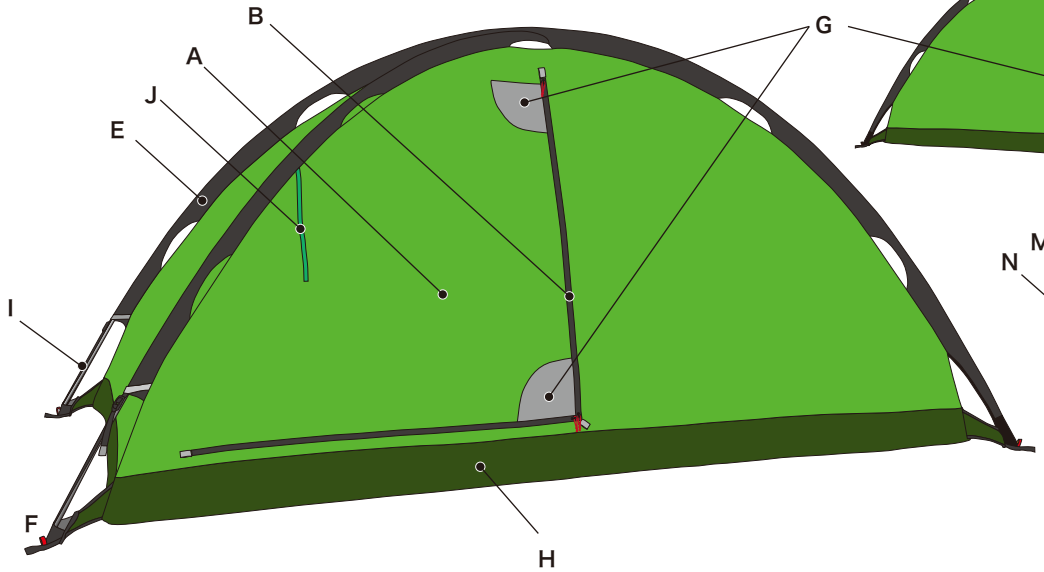
HERITAGE INC.
株式会社ヘリテイジ　〒399-8302　長野県安曇野市穂高北穂高2827-18
☎0263(82)0141　WEB SITE：https://heritage.co.jp

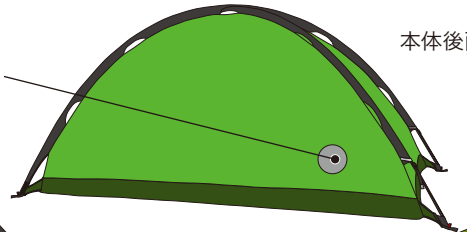
HI-REVO®

取扱説明書

ご使用の前に必ずお読みください

各部名称と説明





本体パネル：15Dナイロンリップストップ・撥水加工
グランドシート：20Dポリエステルリップストップ・PUコート（耐水圧2000mm）
レインフライ：15Dナイロンリップストップ・PUコート（耐水圧2000mm）
ポール：アルミ合金中空ポール（7001-T6）7.5mm径ショックコード内蔵

A テントパネル
テント室内のムレ（結露）を防ぎ換気を図るため、通気性に優れた生地を使用しています。防水性はありませんので必ずレインフライを併用してください。

B 逆L字型ファスナー式入口
大きくフルオープンする入口は開閉、出入りがスムーズです。メッシュ固定ベンチレーターが上下２ヶ所に付き、効果的な換気が可能です。

C リフレクティブ スーパーガイライン
テントを固定し、耐風性、居住性を高める重要なパーツです。光を反射するので夜間でも視認性が高く、中芯にダイニーマを使用しているので、十分な強度を維持しながらも軽量コンパクトになっています。

D ミニラインロック
スーパーガイラインの張り具合（長さ）を調整する超小型の樹脂自在です。

E ユナイテッド・アーチーズポールスリーブ
片側が袋とじになっているので、一方からポールを差し込み、ポールソケットに固定するだけで簡単、スピーディーに設営が完了します。

F アジャスター・ポールソケット
ポールセットが容易にできるV字カットポールソケットと、テントの張り具合を調整するアジャスターです。

G ベンチレーター
入口パネルに２箇所と後面パネル、およびフライシートに設置。入口側はメッシュ固定式、後面パネルのベンチレーターは吹き流し式になっています。入口上部とレインフライのベンチレーターは連動しているので効果的な換気が可能です。

H グランドシート
パネル面までグランドシートが立ち上がり（バスタブ式）、雨水の跳ね上がりがテントパネルに付着するのを防ぎます。防水素材（耐水圧2,000㎜/cm²）を使用していますが、地面に接しさらに人の体重が加わるために水がしみることがあります。防水、保温のためにテントマットを必ず使用してください。

I テントポール
テントの生命部分ともいえるパーツです。メンテナンスをしっかり行い、山行に合わせて予備パーツなどを携行してください。

J エントランスパネル タイニングコード
入口を束ねるためのコードタイです。

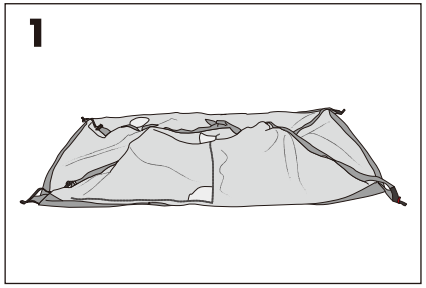
K レインフライ
雨や夜露などを防ぐ防水アウターシートです。防水素材（耐水圧2,000㎜/cm²）で本体を守ります。通気性はありません。

L ペグループ
このループにペグを通し、地面に打ち込んでレインフライを均一に張りながら固定します。

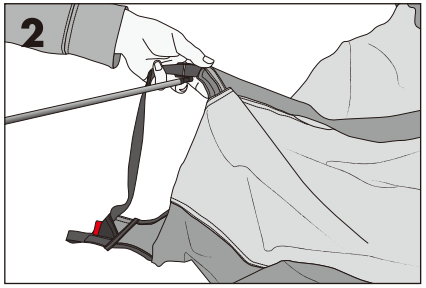
M ショックコードアジャスター
レインフライの張り具合を調整するアジャスターです。

N フライ接続用樹脂フック
レインフライを本体に固定する樹脂フックです。

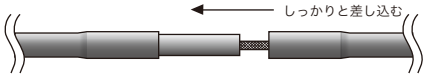
設営方法

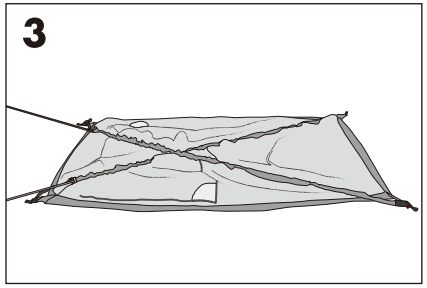


テント本体を広げます。入口は風がない時には半分程開けた状態で、風がある時にはテント室内に風が吹き込まない程度に少しだけ開けます。基本としては入口を風下側に向けます。強風時にはペグでコーナー部分を仮り止めなどして、飛ばされないように十分注意してください。

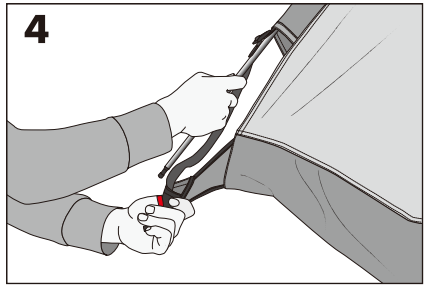


ポールを組み合わせ、ポールスリーブに差し込みます。ポールを組み合わせる時には、各接合部（ジョイント）を完全に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、折損の原因となります。

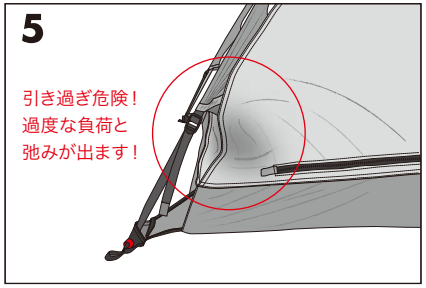




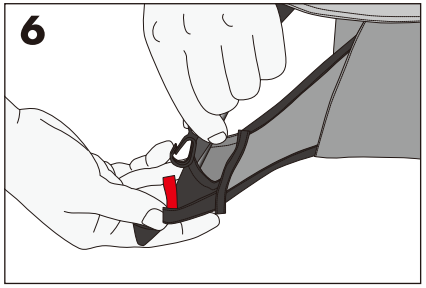
頂点ではポールが交差しますが、もし引っかかった場合は無理に差し込まないで、ポールスリーブ通りに交差させてください。（この際、交差する下側のポールスリーブからポールを通し始めるとスムーズです）ポールスリーブ末端は袋とじになっていますので一気に通せます。



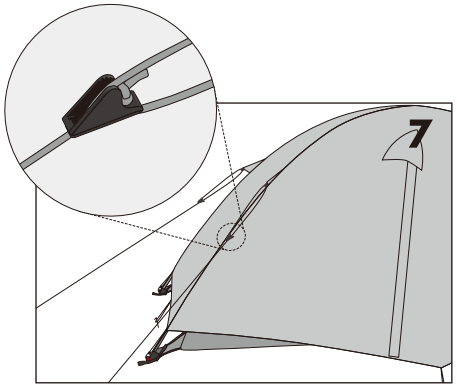
２本目のポールが反対側のポール受けに到達したら、⚠ポール先端がポールスリーブエンド先端まで行っているか、また手元のテンションアジャスターがもっとも緩い状態になっているかを必ず確認してからさらに押し込み、ポールを湾曲させて手元のポールソケットにポール末端をセットしてください。



片側のポールをセットし終えたら、同じ手順で残りのポールをセットし、テントを設営します。
その後手元のテンションアジャスターでテントの張りを調整しますが、図のように引き過ぎるとスリーブに過度の負荷がかかる上、コーナー部分が弛んでしまいシルエットが崩れるので注意してください。



レインフライを本体に被せます。この際、レインフライの入口と本体の入口を合わせてください。次にレインフライ４隅に付いている樹脂フックをテント４隅の赤いループにセットします。
赤いループに一度樹脂フックの頭を差し込み、引き抜く際に樹脂フックのゲートにループを差し入れるとスムーズです。
最後にショックコードアジャスターでレインフライの張り具合を調整します。張りが悪いと漏水の原因となりますので、しっかりと調整してください。



レインフライの各裾中間部にあるショックコードをペグで地面に固定します。その際、レインフライとテントの間の空間が保てるように、本体から少し離して均一に固定してください。張り綱は各コーナーからポールの対角線の延長線上にペグで固定しミニラインロックで長さを調整します。
ペグは張り綱４ヵ所とレインフライ裾中間部４ヵ所の計８本付属していますが、山行に応じて予備を携行してください。

オプション

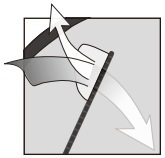
ハンモックネット
HI-REVO / HI-REVO2 共に
エスパース・ソロ/1-2人用 ¥800+税
テント内天井に取り付ける小物置きです。

アンダーグランドシート
HI-REVO用 ¥4,900+税
HI-REVO2用 ¥6,900+税
テントの下に敷く専用シートです。本体の汚れを防止し、耐久性、防水性が向上します。

注意事項 ⚠

火気厳禁

テント室内でのコンロ、ランタン等の火器は絶対に使用しないでください。テント室内は限られた空間のため火器を使用すると、火災発生の恐れや一酸化炭素中毒の恐れもあり非常に危険です。やむを得ず使用する場合は、必ず入口、ベンチレーターを開けて常に換気してください。またテントの生地は可燃性素材ですから、火器はテントパネルから十分に遠ざけ火災に十分に注意してください。



換気必要

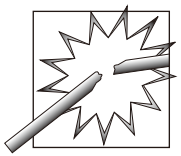
テントパネルはテント室内のムレを防ぎ、換気を図るために通気性を優先しています。しかし、雨天時やテントパネル面が結露または低温化で氷結した時などは、通気性が悪くなります。テント室内ではベンチレーターや入口を開けるなどして、常に換気をしてください。

張り綱の取り扱い

このテントに付属している張り綱は外皮にポリエステル、中芯にダイニーマを使用しているため、軽量で強度(約100kgf)も保持しています。しかし、従来の張り綱より径が細いので、自在を急激にスライドさせると手を火傷したり、自在を破損させる原因となります。張り綱を張る際は岩角などに触れないように張ってください。岩角との摩耗により切断しますので十分注意してください。ペグなどを打てなくて岩石を利用する際は、直接張り綱を岩石に結ばずに別のロープ等を利用してください。

レインフライ

レインフライは降雨や夜露からテント本体を守るためのアウターシートです。防水加工を施していますから、通気性はありません。また低温下では入口ファスナー凍結の恐れがありますので、冬期には使用しないでください。



破損時には(スペアポール、応急処置品の携行)

テントポールは悪天候や不測の事態などで折れることがあります。折損の際はショックコードを切断、または石突きを引き抜いてポールラインをバラして、破損したポールをスペアポール(別売)に交換修理をしてください。
生地が破れた時には、ガムテープなどで両面から張り合わせて応急処置をしてください。
山行日程に合わせて、スペアポール、予備の張り綱などを携行してください。

悪天候・強風時には

悪天候が予想される時には早急に下山する事が安全登山の鉄則ですが、万が一悪天候にみまわれた際には、各張り綱がしっかりと固定されているかを再点検してください。
張り綱やショックコードがゆるんでレインフライとテント本体が接触すると換気機能が低下したり漏水の原因となりますので十分注意してください。

テントを乾かす際

グランドシート下側を乾かすために、ポールをセットした状態でテント本体を逆さまにしないでください。ポールスリーブやテントパネルが地面と擦れ生地の劣化を早め、またポール折損の原因ともなります。

ご購入後の設営確認

テントやパーツの製造、販売には十分注意していますが、ご購入後は必ず山行前に試し張りをしてください。その際、付属品やポールサイズ、設営具合などをご確認ください。また、テントの設営は繰り返し練習の上、実際の山行に備えてください。

防水コーティングの劣化(加水分解)

グランドシートやレインフライの防水コーティングに使用しているポリウレタン樹脂は、ご使用にならなくても、徐々にポリウレタン樹脂が劣化してボロボロになったりベタ付きが発生します。これは、ポリウレタン樹脂が空気中の水分、気温(熱)等の影響で次第に劣化していく化学反応(加水分解)によるものです。
加水分解は、一般的に5〜7年をめやすとして進行し、復元させることは不可能です。
使用、保管方法によっては劣化が早まりますので、ご使用後にはメンテナンスを行ない、直射日光を避け、高温、多湿にならない場所で保管し、時々広げて乾燥してください。

製造ナンバー

アフターサービスのため、製造ナンバー(テント室内・レインフライ裾に表示)により、ポールサイズ、パーツ類を管理しています。修理のご依頼、予備ポールやパーツのご購入の際は、必ず製造ナンバーをお知らせください。

ご使用後のメンテナンス

- ご使用後は泥や汚れ等をよく落とし、風通しのよい日陰で十分に乾燥させてから保管してください。汚れのひどい場合は、スポンジ等で水による手洗いをしてください。洗剤は使用しないでください。もし使用する場合には十分すすぎ、洗剤を完全に洗い流してください。
- 汚れたり濡れたまま保管すると、生地の劣化を早めるばかりか、カビや色落ちの原因となりますので十分注意してください。また定期的にフッ素系の撥水スプレーを塗布すると生地表面の撥水性が持続します。
- ファスナーの泥汚れはファスナー破損の原因となりますので、常にきれいにしてください。定期的にYKKファスナーメイト(シリコンスプレー等)を塗布すると、スライダーの動きがスムーズになります。
- テントポールもよく汚れを落とし乾燥させます。ジョイント部には潤滑剤を薄く塗布してください。濡れたまま保管しますと、腐食し強度低下につながります。
- 生地の破れ、ファスナーの故障、ポールの折損などの修理は弊社にて承ります。その際、製造ナンバーを販売店または弊社にお知らせください。
- 次の山行に備え事前に異常や故障を発見するため、メンテナンスの際、テントポール、ファスナー部、張り綱などよく点検してください。